

校長室より

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼敦之

「二松から飛翔へ」

GOAL から逆算しよう！

新年度が始まって1か月が過ぎました。九段下駅の地下鉄の階段を上ると新緑が目に見え、飛び込んできます。靖国神社から学校までの緑もまぶしい。

6日は、連休の狭間でカレンダーどおりの登校日でしたが、登校してくる生徒は冬服やセーター姿に交じって夏服で登校する生徒の姿も（中には半袖のセーラーも）ありました。

GW明けは我々の日常にも変化が訪れます。3年以上にわたって苛まされてきた新型コロナとの付き合い方が変わります。様々な制限が撤廃・緩和され、やりたいことが出来るようになってきます。これまで外出時には着用していたマスクも個人の判断となり、顔を見せて登校する生徒も増えてくることでしょう。

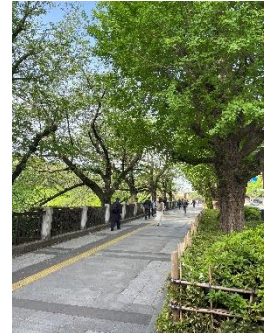
部活動や学校行事などもほぼコロナ前の状況に戻ります。皆さんの期待も高まりますね。部活動では観客の参観・応援が可能になり、一生懸命に取り組んだ成果を発表し、応援してもらえる機会も増えてきます。

学校行事では体育大会や二松学舎祭の準備が始まります。クラスのTシャツを準備したり、クラス旗を作成したりして、クラスの団結が試されます。また、文化祭の出し物企画を検討するのもこの時期です。残念ながらこの三年間で行事の熟練度は間違いなく低下しています。しかし、これまでの伝統を維持しながらも新たな視点で行事を盛り上げてくれることを期待しています。

おっとその前に中間考査も意識しないといけない時期になってきます。計画的な学習も大切です。

「逆算力」（という力があるかどうかは知りませんが）とは、完成を思い描いて現時点でなすべきことを理解することと言えます。例えば家を建てる場合、設計図が必要となります。平屋か2階建てか、和室か洋室か、そこに住む人の家族構成や性格、好みなどを踏まえて図面を描きますよね。しっかりとした設計図をもたないと後で「あーすれば良かった、こーすれば良かった」と後悔すること。「後悔先に立たず」とはよく言ったものです。設計図が出来たらあとはそれに基づいて工期を決めてやるだけ。もう一つ助言するならば、着手にあたっては優先順位を決めることも大切です。

完成形を思い描いて、やるべきことから始めましょう。



授業参観 PART 6

カレンダーのめぐりあわせで6日の土曜日は通常の授業日でした。中には「どうして土曜日に授業なんですか〜」との声も聞こえてきましたが、授業が始まると切り替えて集中していました。

【外ノ岡 和政 先生 5月6日（土）2限「生物基礎」1年E組】

大型のディスプレイを活用してビジュアルな授業が展開されます。導入ではアニメ「進撃の巨人」から食物連鎖を考えたり、教材のビデオ動画からは生物の進化をイメージしたりと視覚から入る情報は理解を助けてくれます。今日のテーマは「生物の進化」について、人類も進化の過程で登場してきた生き物の一つであることを改めて認識させられます。



【浅見 柁晶 先生 5月6日（土）3限「物理基礎」1年B組】

「加速度」を求めるといって授業でした。公式を使いながら物体の速度を求めていきます。徐々にスピードを上げていく物体については、イメージしやすいですね。反対に加速度が負（マイナス）の方向に向かう場合は・・・浅見先生から「上り坂をボールがはじき出され、勢いを失って戻ってくる状態を想像してみて」との説明があり、なるほどと感じた人も多いのではないですか。